

2023年4月26日

各位

会社名 株式会社ジャパンインベストメントアドバイザー
代表者名 代表取締役 白岩 直人
(東証 プライム市場・コード: 7172)
問合せ先 取締役管理本部長 杉 本 健
(TEL. 03-6550-9307)

AI 監視カメラを活用した太陽光発電施設での盗難対策 トリプルアイズとの共同実証実験開始のお知らせ

当社は、株式会社トリプルアイズ（本社：東京都千代田区、代表取締役：山田 雄一郎、東証グロース市場、証券コード：5026、以下トリプルアイズ）と共同で、「太陽光発電施設における盗難防止ソリューション」の実証実験を開始することをお知らせいたします。

記

1. 「太陽光発電施設における盗難防止ソリューション」の目的

昨今、全国各地の大規模太陽光発電施設において、送電用の銅線ケーブルが盗難に遭う被害が相次いでおります。これらの社会課題に対して、当社が管理する太陽光発電施設を活用し、当社グループ出資先でもあるトリプルアイズと共同で実証実験を行います。その結果を踏まえて、早期に外販可能なサービス構築を目指してまいります。

2. 「太陽光発電施設における盗難防止ソリューション」の概要

目的	太陽光発電施設での銅線ケーブル盗難に対し、テクノロジーの力で解決する	
基本構成	AIプログラムが搭載された監視カメラとクラウドを連携	
内容と効果	[内容]	✓ 警備範囲内に何者かが侵入した際に監視カメラが捉え、侵入検知を発報 ✓ クラウドを通じて、IoTサイレンシステムでの発報、及び管理者・警備会社へ通知
	[効果]	✓ 侵入の早期発見と警告を行うことで、盗難予防効果を発揮
特長	① AIプログラムが搭載された監視カメラの活用により、赤外線センサーのように草木の揺れなどで発報することがなく、人の検知が可能 ② 24時間365日の監視が可能 ③ 画角が広いいため死角を減らすことが可能 ④ 夜間でも昼間のような明るさでの撮影が可能	

3. 共同取組の背景

トリプルアイズは、これまで監視カメラとクラウドを連携したソリューションでの実績があり、来店者の属性分析、人流測定、河川の監視、建設現場での進捗管理等のサービスを提供してまいりました。設置から運用まで、カメラを実効性高く活用するノウハウを備えております。

当社は、2014年より太陽光発電所の開発・運営を開始し、2022年12月時点で、日本全国で25拠点、合計で71.3MWの発電出力（太陽電池ベース）の発電所を稼働させております。また売電開始後も自社で管理・運営しており、太陽光発電所の運営に関して多様なノウハウを有しております。

今般、銅線ケーブル盗難被害という、業界全体の社会課題に対して、テクノロジーによる解決手法を模索した結果、両社の強みを生かして共同で盗難防止ソリューションを構築することになりました。実証実験の結果を踏まえて、早ければ、9月より、全国の大規模太陽光発電所のニーズに応え、共同で外販を行ってまいります。

4. トリプルアイズについて

会社名	株式会社トリプルアイズ
所在地	東京都千代田区神田駿河台三丁目4番地 龍名館本店ビルディング 12階
設立	2008年9月3日
資本金	13億8,987万円
代表者	代表取締役 山田雄一郎
事業内容	システムインテグレーションおよびAIプラットフォームの提供
URL	https://www.3-ize.jp/

5. 今後の業績に与える影響

現時点において、本件による2023年12月期の業績に与える影響は軽微です。

本件に関する問合せ先
広報・IR室
TEL：03-6550-9307

以上